

第 97 回 Molecular Embryology Seminar
医歯学先端研究特論

下記の通りセミナーを開催致します。

記

演題：脊椎動物における顎と中耳の発生と進化

演者：武智正樹

岩手医科大学

解剖学講座 人体発生学分野

日時：2012年2月3日（金）17：30～

場所：M&D タワー6F 共用セミナー室 12

[要旨]

脊椎動物は顎を成立させたことにより、摂食効率を著しく飛躍させ、様々な環境に適応することに成功した。さらに哺乳類は進化の過程でこの顎を中耳に取り込み、独自に新しい顎関節を成立させた。脊椎動物の適応放散に深く関わるこの顎と中耳の形態進化はどのように起こったのだろうか？興味深い事に、その形態的多様性にも関わらず、顎や中耳の中心的な構成要素は常に第1咽頭弓の神経堤細胞である。従ってこの形態進化は、神経堤細胞の分化に関わる上皮-間葉間の相互作用の進化的変化に帰着できる。我々は顎を持たない脊椎動物であるヤツメウナギをはじめ、サメ、ニワトリやマウスの咽頭弓の発生を分子レベルで比較することでこの問題に取り組んでおり、これまでに得られた結果について紹介したい。

連絡先：大学院医歯学総合研究科・分子発生学分野
太田 / 井関（内線：5579）